

令和7年度 学校評価報告書 (目標設定) 実施結果)

	視点	4年間の目標 (令和6年度策定)	1年間の目標	取組の内容	
				具体的な方策	評価の観点
1	教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の多様な進路希望やニーズに対応した教育課程を編成する。 基礎学力の定着を図るとともに、生徒が主体的に学ぶ姿勢や態度を養い、自己肯定感を育むための学習活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 新教育課程が全学年で完成している。設定科目等が生徒が進路選択をするうえで有効かどうかを検証する。 ②授業アンケートは良い評価となっている。それを維持及び上げる取り組みとして、生徒の学習活動を充実させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 教科代表者会議等を通じて、教育課程についての意見聴取を行う。 ②授業アンケートの数値だけでなく、コメントを拾い上げ、改善に生かす。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 現行の教育課程で、改善すべき点や、次期教育課程を編成する際に、申し送ることはあるか。 ②昨年度の評価を上回るか。コメントについて、教員がどのように評価するか。
2	生徒指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の課題に応じた知識を身に付けさせ、個に応じた組織的な指導体制を充実させる。 ビジネスマナー教育を大きな柱とし、基本的な生活習慣を身に付けさせ、生徒会活動や部活動を通し健全な人材を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①かながわ子どもサポートドックなどの取組を通じて、個に応じた生徒支援を充実させる。 ②学校行事や部活動を通して、自ら考え判断し行動ができる能力を身に付けさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒情報共有会やかながわ子どもサポートドックの情報をもとにスクリーニング会議を行い、アウトリーチ相談支援事業との連携を図る。 ②状況の変化に柔軟に対応し、生徒が主体的に活動できるよう、教職員と生徒会本部役員が連携を密にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①スクリーニング会議における評価をもとにSC、SSWによる支援やアウトリーチ相談支援事業との連携による支援を行うことができたか。 ②学校行事のアンケート結果から、生徒の充実感・達成感を読み取ることができたか。
3	進路指導・ 支援	<ul style="list-style-type: none"> 社会的・職業的に自立するために必要な能力や態度を、体験的な学習の機会を通じて育成する。また、キャリアの発達段階を意識した進路指導の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 今年度からの大学入試制度や就職に関する提出書類の変更に対応するとともに、生徒一人ひとりが自らのキャリア形成に主体的に取り組むことができるように支援する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進学・就職の各説明会において、説明と対応の確認をしていく。 ICT等を活用し、細やかな情報提供を行っていく。 進路ガイダンスやインターンシップ等を通じて具体的なキャリア像の形成を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①進路行事のアンケート結果から、生徒の充実感や進路意識の向上を図ることができたか。 情報提供において、どれだけICTを活用できたか。
4	地域等との 協働	<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携や協働活動を通じて、地域に根ざした学校づくりを推進する。 本校のPR活動を積極的に行うなど広報活動を充実させ、地域や近隣小中学校への情報発信に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①小田原市や地元自治会など地域との連携を積極的に深め、生徒の地域への関心を高めさせる。 ②近隣の小中学校など他校種による交流の場を企画するとともに、様々な場面で本校のPR活動を行っていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ボランティアへの参加や自治会との交流を積極的に図り、地域に根ざした学校を目指す。 ②他校種との連携事業を積極的に実施していく。また、各中学校や外部で実施する中学生に向けた説明会などに参加し、本校の魅力を発信していく。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ボランティアに参加した生徒や自治会にアンケートを実施し、満足度90%以上であったか。 ②各説明会で中学生や保護者にアンケートを実施し、満足度90%以上であったか。
5	学校管理 学校運営	<ul style="list-style-type: none"> 災害の際に、適切に生徒の安全を確保するための行動計画の策定および近隣と協調した活動を推進する。 持続可能なPTA活動の在り方を模索する。 ヒヤリハットから重大な事故等に繋がることもあるため、職員間のコミュニケーションを密にし、今まで以上に風通しのよい職場環境の構築を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 火災想定避難訓練、津波想定避難訓練、DIG訓練（在学生徒が3年間に1回行う）等を実施し、災害時の安全に対する意識の向上を図る。 ②PTA活動の周知徹底を図ることで、PTA活動に対する理解及び活性化を図る。 ③不祥事の未然防止に努めるとともに、個々の職員の意識向上を図る研修等を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①津波想定避難訓練は、地域との協働で実施し、DIG訓練は、地域の外部講師を招いて、地元の地形を周知することで、安全に避難できる場所を学ぶ。 ②PTAの様々な活動、行事等の精選・見直しをすることで、参加者等の増加及び活動の改善を図る。 ③事故不祥事に関して定期的でタイムリーな研修を実施する。 衛生委員会の活動をとおして、風通しの良い職場作りのために、職場環境の改善を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①火災および津波だけでなく様々な災害を想定した訓練や知識を生徒に学習させることで、防災に対する意識を高めることができたか。 ②活動の精選及びPTA活動への参加者等が増えたか。 ③定期的な不祥事防止研修会を通して、職員の意識の向上を図ることができたか。 職場環境の改善を図ることができたか。